

R. I. District2610, ROTARY CLUB OB UOZU

## 魚津ロータリークラブ会報誌

2011-2012年度 RI会長 カルヤン・バネルジー  
2011-2012年度 魚津RC会長 寺崎 明博



2012-5-11

### 第2823回 例会報告

- (1) 点鐘・握手
- (2) ロータリーソング 「それでこそローラー」

#### (3) 誕生祝



4月30日 辻 浩 夫人

私の妻、愛妻きょう子が60過ぎになりました。まだまだ元気で頑張っております。みなさんよろしくお祈りします。

(きょう子さん) 今日はありがとうございました。宜しくお願いします。

#### (4) 会長あいさつ 寺崎 明博会長



みなさん！ 今晚は～。ご苦労さまです。この様に來ていただく方は三波春夫さんの言葉を借りると、私にとっては皆さんは神様です。私が何故そのように言うかといいますとどうしても特別例会となりますと人の集まりが悪い。ですから今晚着ていただいた方々は私にとっては神様なのです。

さて今日5月11日は春の旬の会です。旬の会といいますとその季節に獲れる珍しい魚・野菜・果物などを食べながらその季節を皆で楽しもうというのが目的だろうと思います。そこで過去の旬の会の時期をみてみますと毎年4月の末に行っておりました。今では季節感がありません。春でもトマト、なす、胡瓜などいつでも食べることが出来ます。従って春を代表する野菜や果物が無くなってきています。とはいえよく考えて見ますと春でない食べられない物がありました。それは山菜です。山菜といってもワラビ、ぜんまいは誰でも近所の山で取ることが出来ます。そこで山菜の王様はやはり「山うど」です。そこで何故今まで4月行っていた旬の会を5月11日にしたかといいますと私の手帳に昨年5月19日新潟へ「ウド」をつみに行った時に一週間遅かったと書いていましたから、今日5月11日にしました。そしてメンバーの中で希望される方がいたら4人程で新潟へ「ウド」を取りに行き、皆さんに今日池上さんで召し上がって頂きたいと思っていました。

ところが現実はどうもいきませんでした。それは去る5月6日の雷、雨風、あの八倉巻さんが落雷で亡くなった日、私はスクールへ風呂に入りに行きました。風呂から上がって洗い場に座ってみてビックリしました。それは体に赤い米粒ほどの出来物がたくさん出ておりました。私はすぐ周りを見ました。何故かという、この私の体を見たら、「こいつは何という常識の無い奴だ」と思われるかと思って回りを見ました。幸いにもお昼時間だったので人は二人ほどでした。私は判らないように早々と風呂から上がってきました。それで月曜日になりますとまだ沢山の湿疹が出ていました。あまり自覚症状がありませんので三日もすれば治るだろうと思って火曜日になりました。その日は仕事の打ち合わせがあつて10時頃、いつも行っている「マイロード」でコーヒーを飲んでいましたら、そのお客さんとママが「寺崎さん、その顔どうしたの、顔が赤くぶつぶつが沢山の湿疹が出ていますから、早く医師のところへ行って診察を受けたほうがいいよ」と言われました。実は自分も医師に診て頂いた方がいいかと思っていましたので、すぐ労災病院へ行きました。

お医者さんは私を診て、「これはひどい、しばらくこんなのを診たことがない」といいました。私は「そんなにひどいのですか」といってお医者さんは「顔までこんなにぶくぶくになるのはあまりないので、まず点滴をしましょう」ということで点滴をすることにしました。点滴をするには約一時

間かかりますから、ベットで寝ながら私の顔に幾つほど出来物が出ているのかと思い、顔の出来物を数えたら37もありました。そこで私はあることを思い浮かべました。それは皆さんもよく知っているあの有名な藪医者や漫談のケーシー高峰さんの顔を思い出しました。あの人の顔はすごいですよね。がたがたでお月様のような顔ですごいですよね。今の私の顔はケーシー高峰さんにお酒を飲ませたような顔かなと思いながら点滴しました。お陰様で昨日まで点滴をしましたが、お医者さまに何が原因で吹き出物が出たのかききましたら医者は解からないと言われました。実はスコップを持って自然芋掘りに山を歩いて何かにかぶれたものと思います。そのようなことがあって今日山ウドを採りに行くことが出来ませんでした。なかなかこの世の中は上手いかないものだと思います。しかし私が掘った山芋を池上さんに届けてありますので、どのような形で皆さんの前に出てくるかは判りませんが皆さんで召し上がって頂きたいと思います。

さてこの話はここまでにして、実は7日に根岸さんの顔をしばらく見ていないものですから根岸さんの家へ行きました。根岸さんは元気の良い声で「寺崎さんけ、あなた家へ入れ、今写真の整理しているところであんたのも有るから入れ」と言われて根岸さんを見ると、なんと肩から白い布で右の手を吊っておられるので「あなた手をどうしられたのですか」ときくと、根岸さんは「あんた1日に犬を散歩して転んで手を折ったがちゃ」。「さあ、あなた入院しなくてやかったの」と言いました。根岸さんは「寺崎さん、年寄りが入院するとすぐ死ぬが～、それは何もしないで寝ていると体が弱っていろんな病気が出てきて、終いには死ぬがで～。私は家で動いておるが」と言われました。私もなるほどと感心をして聞いておりましたが、そこで思ったことは今うわさによると岡崎さんも入院しておられると聞いております。寺崎年度は吉森さんが骨を折られた。また若井さんも骨を折られた。今また根岸さんも骨を折られました。今年の寺崎年度はホネノオレル年度で、これ以上故障者が出ないうちに早く寺崎年度終わりにしましょう。あまりいい話が出来ませんでした。今日は旨いもの小勢で、池上さんの美味しい料理とお酒を飲んで楽しくすごしましょう。大変話が長くなりましたがありがとうございました。

#### (5) 出席報告

- ・本日の出席者 25名、出席率 71.42%。欠席者 10名。メイクアップは清水、中川さん。
- ・2821回のメイクアップは辻 英晴さんで修正出席率は 65.71%を68.57%です。

#### (6) ニコ・ボックスの報告

- ①平崎暉夫さんより、今回家内と古希記念として9泊10日の中国上海、韓国濟州島、日本の小樽、青森、横浜の船旅を楽しんで来ました。
- ②杉野芳宏さんより、大吟醸のお酒を頂いています。

#### (7) 閉会点鐘

#### (8) 引き続き旬の会が盛大に開催されました。

- ・乾杯は野澤良成会長エレクトより「今宵は楽しくすごしましょう！」





#### あとがき

- ・五月に入ると僧ヶ岳にはっきりと雪絵が出てきました。今年は積雪が多かったので雪絵の現れるのが遅く感じられました。解け水も大変冷たく、早苗もさぞ冷たいことだろうと思われられます。
- ・田植えも例年五月の連休に家族総出でされたものでしたが、今年はかなり遅れ、まだ作付けされていない田も目立ちます。
- ・その影響なのかどうか解からないようですが、旬の最たるもの、ホタルイカがさっぱり捕れないそうです。1KG当たり10,000円もするそうです。まさにホタルイカ異変です。
- ・今、”さくら”の話が旬になっています。高峰桜です。  
100年前、高岡生まれ、金沢育ちの世界的化学者、高峰譲吉博士の尽力でアメリカワシントン市ポトマック河畔に植えられた日本の国花”さくら”が、現在日米友好のシンボルとして大きく育ち、全米で桜祭りが開催されているといひます。  
その”さくら”から生まれた子桜が里帰りをし、高岡と金沢に植えられたと報道されていました。誠に素晴らしい事業と感心するばかりです。
- ・先日、魚津RC会員の宮本汎先生とある会で一緒になり、お話をする機会がありました。その時先生から、「今、桜の苗木1000本植える準備を着々としている」と聞きました。「それはすごいことですね〜。」と感心しました。  
環境美化と観光開発と地域振興に大いに貢献すると期待するものです。頑張ってください。
- ・紀元前一世紀のローマの詩人 カエキリウス・スタディウスが「他の世代のために 樹を植えよ」といひています。植林は永遠のテーマなのではないでしょうか。なんといひても動物が生きるためには植物が作る酸素が必要ですからね〜。
- ・魚津ロータリーが手入れをしている「花桃」や「紫陽花」が100年後どうなっているのでしょうか。美しいと感じる人々が増えていることを願いたいものです。
- ・次回（5月18日）の例会は野外奉仕例会です。海浜公園でサツキの手入れと清掃活動です。大伴家持が詠んだ記念碑のある場所です。

越の海の 信濃の浜を去暮らし 長き春日も忘れて思へや

748年3月7日 大伴 家持 詠

(平成24年5月16日)